NIE実践報告

1．タイトル：新聞写真を活用して確かな学びを目指そう

2．学校名

岩手県北上市立黒沢尻東小学校

3．実践者名（代表者名）

相馬　節子(高橋きぬ代)

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　33人

6．単元（本時の学習課題）名

は、を、へ、を使って文を作ろう

7．目標（狙い）

・助詞「は」か「を」か「へ」を使って文章を書くことができる。
・新聞記事の写真を見て、文を書くことができる。

8．評価の視点

新聞の写真の内容に沿って「は」か「を」か「へ」を使って文章を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

(1)助詞「は」「を」を使って文を作ろう。(1時間)
(2)助詞「へ」を使って文を作ろう。(1時間)
(3)「は」「を」「へ」を使って文を作ろう。(1時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)学習のめあてを知る。
　(留意点)・児童の興味を引く新聞写真を提示し、全体で写真から想像できる単語を出し合う。
　　・単語を基に作文をし、「は」「を」「へ」を赤で囲み助詞に注目させる。
(2)新聞の写真を見て、気付いたことを「は」か「を」か「へ」を使って文を書く。
　(留意点)・新聞スクラップを基に文作りに取り組ませる。
(3)書いた文を発表する。
　(留意点)・発表を聞く側は、「は」「を」「へ」に気を付けて聞く。
(4)学習のまとめをする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　自らスクラップした新聞の写真を使うことで、児童は興味をもって取り組むことができた。また、友達の選んだ新聞の写真にも興味があり、友達の発表にも真剣に聞き入っていた。

12．成果と課題

・新聞の写真の内容から自分の体験を書いた児童もいたが、全員が「は」か「を」か「へ」を使って文作りができた。
・写真によっては、文を作りにくいものもあったので、扱う資料の吟味が必要である。
・「へ」を使う児童は少なく、目的地を示す「へ」は新聞写真では使いにくいものであった。